

安心ネットづくり促進協議会の取り組みについて

2019年11月25日

安心ネットづくり促進協議会



1億人のネット宣言
もっとグッドネット

安心ネットづくり促進協議会の取組み

- 普及啓発活動等に関して第三者の立場から議論を行っていただくインターネット環境整備に係る検討会（以下「安心協検討会」）を立ち上げて、保護者や青少年の利用者視点で課題の分析および評価を行っている
- 第7回タスクフォースにおいては、昨年度の安心協検討会報告に基づき、保護者向け情報発信の強化等について報告した
- 本日は、安心協検討会のとりまとめに基づく次の取組みを報告したい
 1. 保護者向け情報提供の強化に関する進捗状況（第7回TF発表のつづき）
 2. 親子間コミュニケーションの重要性・家庭内ルールの実効性を高める必要性などの指摘に基づき、保護者の課題認識等に関する調査について

（参考）安心協検討会 座長、副座長 ※敬称略

氏 名	所 属
（共同座長） 穴 戸 常 寿	東京大学教授（法学／憲法・情報法）
（共同座長） 曾我部 真 裕	京都大学 教授（法学／憲法・情報法） ※本年度から委員（座長）に就任
（副座長） 川 島 芳 昭	宇都宮大学准教授（学校教育学・教育工学）

(参考) 第7回 タスクフォース報告資料抜粋

第7回TF資料抜粋

- 検討会では、「ツール類を上手に利用するための情報提供の必要性」や「親子間コミュニケーションの重要性」などの指摘があったため、今年度において、コンテンツに関する情報と併せて情報発信を強化する



- 保護者に対して情報発信を行う際の方向性について次の観点から検討した

1. インターネット利用における保護者の不安要素とツール類*
2. ツール類*を用いた対策の啓発ワンポイント
3. 家庭における親子間コミュニケーション
4. 具体的な情報提供・啓発方法

*ツール類とは、フィルタリング（有害情報遮断する機能）のほか、利用状況を確認する機能、時間を設定する機能や各種設定などインターネットを安全に使うための仕組み全般の総称

- 1. 保護者向け情報提供の強化に関する進捗状況**
- 2.ペアレンタルコントロールに関する調査について

新たに情報提供予定のホームページ全体像

- 保護者の悩みについて解決案を示す過程で、ペアレンタルコントロールの重要性に加え、SNSおよびツール類に関する知識を持つ必要性を併せて働きかける、スマホ向けサイトを開設予定（12月下旬目途）

【関係図】

1. 保護者の悩み（お悩み1～6）
2. 解決策の説明
3. 大切なことは（ペアレンタルコントロール）
4. 具体的な方法



コンテンツに関する情報



青少年ネット環境整備協議会

ツールに関する情報

ウーリーに学ぶ！あんしんフィルター

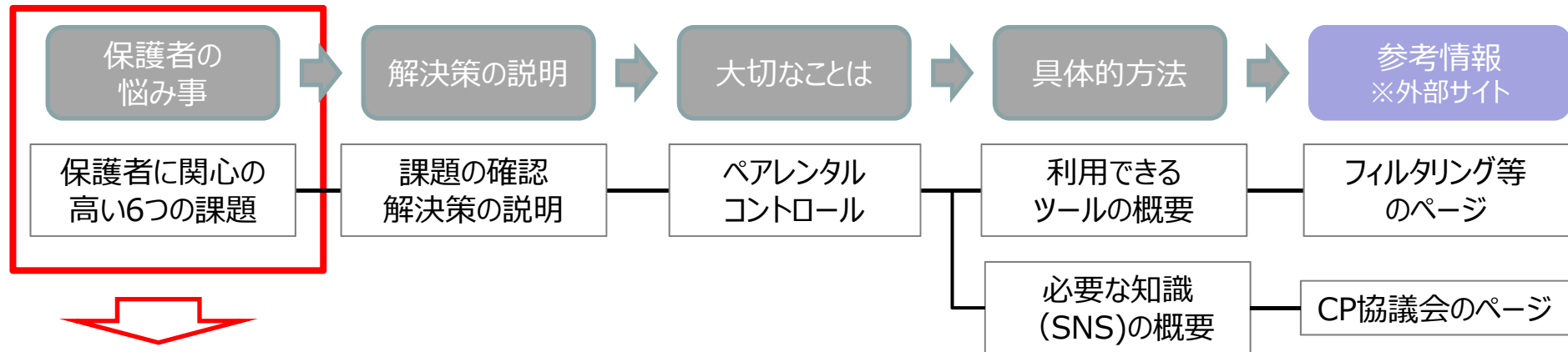
ウツカリカサゴのウーリーが、あんしんフィルターの機能を詳しく紹介するよ！



例：あんしんフィルター for au

新たな保護者向け情報提供（HPの構成 1/3）

- サイトトップでは、「保護者に関心の高い課題（悩み）」を提示することで内容の関心を高める



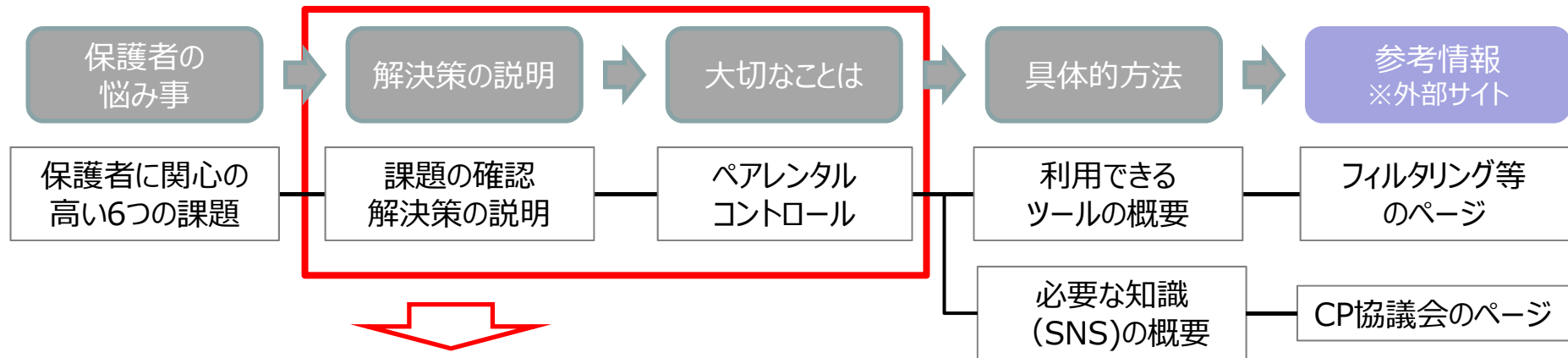
【表示イメージ】



- お悩み 1. いつもスマホをいじっている
- お悩み 2. 課金ゲームの請求が怖い
- お悩み 3. 有害情報を見ていないか不安
- お悩み 4. 体に悪い影響がでそう
- お悩み 5. 知らない人があなたの子どもを知っている
- お悩み 6. ネット犯罪にあわないか心配

新たな保護者向け情報提供（HPの構成 2/3）

- 保護者にとって**関心の高い「悩み」ごとに解決策を示す**ことで、短い時間で理解を深めてもらう
- それぞれの「悩み」に対する**ペアレンタルコントロールを実践する上でのヒント**等を記載する



【表示イメージ】



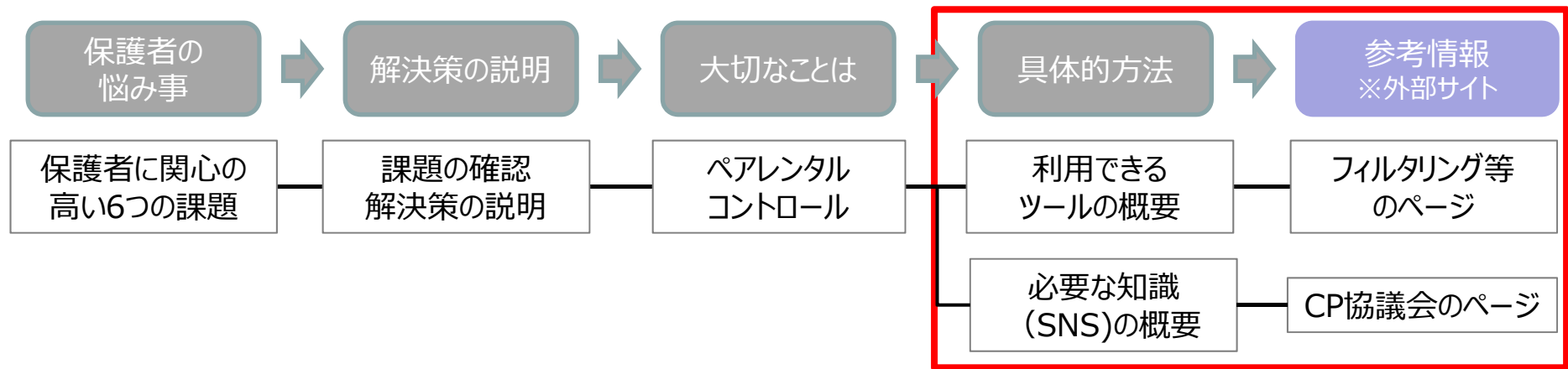
◆解決策のタイトル（解決方法のダイジェスト）

◆解決策の説明
悩み事の現状や影響などの説明に加え、どのような解決策が良いのかを記載

◆関連個所へのリンク

新たな保護者向け情報提供（HPの構成 3/3）

- ツール類を提供するキャリア、フィルタリング会社およびOS会社、並びにSNSに関する情報を取りまとめた青少年ネット環境整備協議会と連携した情報発信を行う



【イメージ：スクリーンタイム】



【イメージ：あんしんフィルターfor au】



(参考) SNSに関する情報のイメージ (青少年ネット環境整備協議会作成)

■ 青少年ネット環境整備協議会に加盟する各社のサービス情報が掲載される予定

【情報のフォーマット】

アイコン	サービス名	
	事業者名	
主な機能 Main features		
(サービスのメイン機能と青少年の安心・安全な利用に関する機能等の説明)		
安心・安全な利用のために For safe and secure use		
(トラブル事例等)	(トラブル事例等)	(トラブル事例等)
(トラブルに対応する対策や機能)	(トラブルに対応する対策や機能)	(トラブルに対応する対策や機能)
青少年ネット利用環境整備協議会 青少年の安心・安全なネット利用のために参加事業者が運営するサービスの情報を提供しています。		

【情報のイメージ】

LINE

LINE株式会社

見本

主な機能 Main features

- トーク: 友だちに文字、「スタンプ」というイラスト、写真や動画、音声、位置情報を送ることができます。複数の人に連絡をする際には、グループトークで一度に内容を伝えることができます。
- 通話: 音声通話やビデオ通話を利用することができます。電話回線ではなく、インターネット回線をつなぐため、電話料金はかかりません。また、音声・ビデオ通話は複数人で利用することも可能です。
- タイムライン: テキストや画像、動画やスタンプで自分の近況を共有したり、友だちの近況を確認したりすることができます。世界中のLINEユーザーと交流することができますが、「見せたくない相手に自分の近況を見せたくない」または「見たくない相手の近況を見えなくするため」、「公開範囲」の設定を行います。
- 友だち: LINE上でメッセージの送信や通話ができる相手として登録されているのが「友だち」です。友だちの登録方法は大きくわけて2つあり、電話番号に登録した電話番号を使って自動的に登録する方法と、手動で登録する方法があります。登録している友だちには「ブロック」「非表示」「削除」という手段で管理することができます。

**安心・安全な利用のために
For safe and secure use**

見知らずの人と友だちになってしまう

学校の友だちなど知り合いのグループ内でのいじめ

迷惑メール業者トラブル

ブロック機能

友だちになった相手とのつながりを拒否する方法として、ブロック機能を提供しています。ブロックしても相手には伝わりませんが、相手からのトークや通話を受信することはできません。

年齢制限を用いた機能制限

青少年の出会いによるトラブルを未然に防ぐため、携帯電話会社が提供する年齢認証機能を利用して、18歳以上を確認しています。確認できない場合にはLINE ID換乗などの一部機能に制限を設けています。携帯電話の契約時に、正しく利用者の申請をしましょう。
※特定の年齢制限は、年齢認証をすることができない場合があります。

トラブルに巻き込まれないための「考え方」・「使い方」

青少年のトラブルを未然に防ぐために、まず大人自身が使い方やネットマナーに関する知識を得ることが肝心です。LINEの設定次第で回避できる部分は設定方法をお子さまに教え、また、他人とのコミュニケーションに関するマナーや、インターネットに潜む危険をご家庭や学校などで、正しい「考え方」・「使い方」の両面で十分に話し合ってください。

身に覚えのない連絡は決して返信してはいけない

設定によっては、見知らずの相手から連絡が来ることがあります。知らない相手からつく友だち追加されたり、身に覚えのない買品や金銭の当座通知などが届いたりしても、決してそれに応答してはいけません。多くの場合、詐欺の典型的な手段だからです。また、LINEを語るフィッシングメールも要注意です。

通報機能

LINEの友だちではない人からトークが送られてくると、「ブロック」「通報」のボタンが表示されます。身に覚えのない人からの迷惑なトークは、すぐにLINEに通報することができます。

※詳しくは「LINE安心安全ガイド」(<http://linacorp.com/ja/safety/index>) を参照ください

青少年ネット利用環境整備協議会
 青少年の安心・安全なネット利用のために参加事業者が運営するサービスの情報を提供しています。

1. 保護者向け情報提供の強化に関する進捗状況
2. **ペアレンタルコントロールに関する調査について**

ペアレンタルコントロールに関する調査について

- 昨年度の安心協検討会において親子間コミュニケーションの重要性・家庭内ルールの実効性を高める必要性などの指摘を踏まえた保護者意識調査を実施する
- 調査内容は、上記の指摘に加え総務省タスクフォースにおいてペアレンタルコントロールの必要性に係る認識の醸成が課題とされたこと、ネット利用における課題と対策が複雑化している現状を踏まえ、保護者がネット利用に関する課題を「どのように認識」し、「どのように対処」すべきと考えているのかをテーマとし、保護者にとってより望ましい啓発と関連ツール類の内容向上につなげたい（具体的な調査内容は安心協検討会で決定）

「青少年のフィルタリング利用促進のための課題及び対策」：（8/9）総務省報道資料抜粋

フィルタリングを始めとするペアレンタルコントロールの必要性に係る認識の醸成

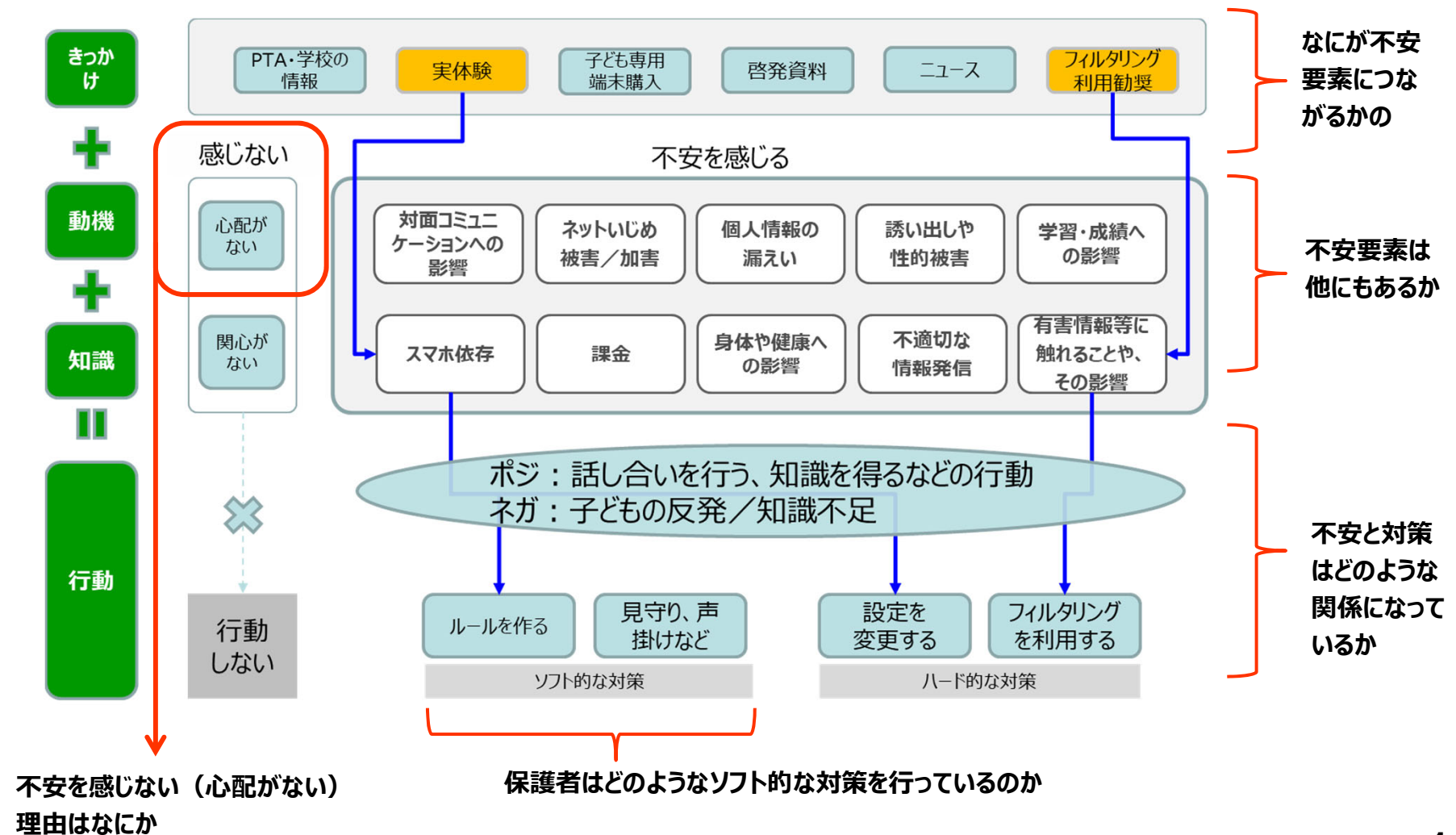
- ① 利用者に対するインパクトのある周知啓発方法の検討の実施
- ② 周知啓発の講座等の一層の推進
- ③ ペアレンタルコントロールに係るサービス等の周知強化

ペアレンタルコントロールに関する調査について（ステップ1）

ステップ1：ペアレンタルコントロールの全体像を確認する

※「動機」を中心に「きっかけ」や「行動」との関係性を調査する

下図の青色の線は関係性を表す例示



今後の予定

2019年度		2020年度	
10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月
<p>▲総務省青少年タスクフォース（本日）</p> <p>▲第5回検討会（情報提供内容確認、保護者意識調査の補足）</p> <p>▲情報提供開始（12下～1上の間）</p> <p>調査期間</p> <p>▲第6回検討会（保護者意識調査結果報告）</p>			

【全体像】

